



国際交流員の活動日誌

vol.63



「季節を感じる国」

The Land of Changing Seasons

日本に来てから、季節をはっきり感じる事ができました。日本のように、アメリカのほとんどの所は四季があります。特に私の出身であるテネシー州では春夏秋冬が明瞭なので、秋の木々の色、冬の雪、春の美しいお花や夏の厳しい暑さで育てられました。しかし多くのアメリカ人は、春のお花と秋の紅葉以外、季節の美しさを感じないと思います。

日本では季節によって、自然、行事、食べ物や飾りもたくさん変わってきます。

この特徴のおかげか、または基本的に日本の方が綺麗なのか分かりませんが、日本の季節の方が鮮明で美しいと私は感じます。アメリカでは、アジサイを見て何も感じなかったですが、晴れの天気が大好きな私も、日本のおかげでアジサイと共に訪れる梅雨を楽しめるようになりました。この目線を与えてくれた日本の文化に感謝しています。(ララ)

※はねかす…飛ばし散らす

地域の魅力 ふる里再発見

保原城から保原陣屋へ - 1 - ～保原城とは～

令和4年度第1回企画展

保原城から保原陣屋へ

8/7日まで(展示替え有)

伊達市保原歴史文化資料館

伊達市保原歴史文化資料館では、令和4年度第1回企画展「保原城から保原陣屋へ」変遷を探る」を開催しています。企画展前半は「保原城」、後半は「保原陣屋」を紹介します。

保原城は、戦国時代から江戸時代にかけて築城されたと考えられています。しかし、「保原」が地名として記録に見えるのは天文年間(1532～1555年)以降で、築城時の記録は残っていません。

天正19(1591)年に豊臣秀吉による奥州仕置きで伊達政宗は伊達地方を奪われ、大崎地方へ移されました。伊達地方は蒲生氏郷の支配を経て慶長3(1598)年に上杉景勝の支配となり、福島城に水原氏・梁川城に須田氏・保原城におおいはりまのかみつなもとに大石播磨守綱元が城代として置かれました。寛永13(1636)年に保原城におこしへいざえもんきよみちに小越平左衛門清道が鎮将として配されました。慶安



保原城跡位置図

2(1649)年からはその子・清政が跡を継ぎました。以上のことから「保原城」は安土桃山時代に築城され、江戸時代前半期に廃城になったと推察されます。この頃の保原城の様子を示すものとして、延宝2(1674)年の「陸奥国信夫伊達惣検地高絵図屏風(福島県歴史資料館所蔵)」があります。寛文4(1664)年に上杉領は幕領となり、保原城は廃城となりました。保原町内には、現在でも保原城に関連する地名として元木(元城)・鉄炮町・城ノ内が残っています。なかのクリニク付近が本丸、保原中央交流館付近が二の丸と推定されます。